

企画の趣旨

今年度のユースシンポジウムのテーマはワカモノガタリでした。第1部の内容を受け、第2部のセミナーでは実際に若者に語りだしてもらった場をねらいました。現代の若者は労働市場の大きな変化によって安定的に雇用される職場を喪失し、技術や職業能力を身につける機会も大きく損なわれました。年々労働市場の環境は悪くなる一方ですが、若者は社会に出て行かなければなりません。いかに折り合いをつけて働くか。また、働くということをふまえて、ゆるやかに自分を知ることができる場にできればと考えました。多くの人にとって働くということは、人生に欠かせません。自分はどのような働き方をするのかを考える時、年齢も職業も考え方も全く違う人たちが集まって、語りあうことができれば、今後の働き方の可能性は広がる！そう考えこのセミナーを開催しました。



プログラムの流れ

講師：橋口昌治氏

1部 ● 仕事オークション

趣味や特技が生かせる仕事、給料が高い仕事、自分のペースで働ける仕事など自分が働く上で大切にしている事柄に値段をつけ、オークションで競り落とし、『働く』についての自己理解を深めるきっかけをつくりました。

● グループワーク

○ 働きマインドを整理する

仕事オークションの際、自分が選んだ働き方の理由をグループでシェアしました。

○ 働きマインドを考える

仕事オークション、グループでの意見交換を行った上で、自分の働く上で欠かせないもの「自分の働きマインド」は何かを考え、グループで討議しました。

○ 働きマインドのために、今何が必要か考える

自分の働きマインドを大切に働くために、これからどんなことができるか考え、紙に書いてもらいました。

2部 ● 講師講演

- ・新卒採用は、できることよりやりたいこと。フリーターや転職はやりたいことよりできること。という風潮がある。
- ・長く働けば給料が上がるという仕組みではなくなってきている中で、複数の仕事を持つ、自分で仕事を作るなど、働き方が多様化している。社会が多様化しているにも関わらず、自分が選んだと考え自分の責任と捉えてしまう。

参加者の属性

大学4年生、伏見センターボランティア、若者サポーター
教育関係(学校の先生)とフリーターや転職を考えている人、これから働きだす人

参加者 17名

グループでどんな話がされたか

- ・仕事と私生活をどう分けるか、あるいは分けられないか悩んでいる
- ・仕事に対して100%でのぞむ人、完璧を目指さない人、いろんな行動の仕方があると思う
- ・働く上でのモチベーションをどう維持するのか、いろんな人の意見が聞きたい
- ・自分で起業するか、雇われるのがいいか、悩みながら今の仕事をしている
- ・雇うよりも雇われて働くのが良いと感じている
- ・働くモチベーションはどのように維持すればいいのか、悩んでいる
- ・働きながら、休暇を使い海外に遊びに行きたい



担当 下京青少年活動センター 久住祐香
伏見青少年活動センター 青山洋輝